

法5条・旧々5条3号 入会申込必要書類のご案内 (2024. 3～)

	書類の種類	注 意 点	必要通数
1	入会申込書	<ul style="list-style-type: none"> ・本籍欄は番地等を「ハイフン」等で省略せず、戸籍謄本等の記載通りにご記入をください。また、紹介会員として、当会会員のご署名、ご捺印をいただいでください。 ・他の弁護士と事務所を共にする場合、事務所名称及び事務所住所等の表記を統一してください。 (※日弁連ホームページ「弁護士情報検索」で確認可能) ・携帯電話の電話番号は登録不可。固定電話がない場合は空欄としてください。ただし、「050」等(IP電話)から始まる番号は登録可能。 ・職務上の氏名の使用希望される場合は、署名欄に戸籍氏名と職務上の氏名を併記してください。 	1通
2	弁護士名簿登録請求書	<ul style="list-style-type: none"> ・収入印紙貼付箇所に収入印紙 6万円を貼付してください。 ・本籍欄は番地等を「ハイフン」等で省略せず、戸籍謄本等の記載通りにご記入をください。 ・企業内弁護士になる場合は、企業名は事務所名の欄ではなく、事務所住所の後に記入してください(企業は法律事務所ではないため) ・携帯電話の電話番号は登録不可。固定電話がない場合は空欄としてください。ただし、「050」等(IP電話)から始まる番号は登録可能です。 ・2枚目にも捺印ください。 	2通 ※日弁連用・弁護士会控を提出
3	履歴書 写真(タテ4cm×ヨコ3cm)※所定の場所に貼付してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・本籍欄は番地等を「ハイフン」等で省略せず、戸籍謄本等の記載通りにご記入をください。 ・写真は申請日より3ヶ月以内のものをご用意いただき、履歴書の所定の場所に貼付してください(裏面に氏名記入)。 ※背景なし、無帽、サングラス不可。顔が鮮明でないプリンター印刷不可、普通紙の印刷物の切り抜き等は不可。 ・学歴は大学(学部・学科)卒業日及び大学院・法科大学院修了日、司法試験(旧司法試験の場合は第二次試験)合格日、法務大臣認定日を記入してください。※該当部分のみ ・職歴の記載がある場合、年月日(始期および終期)を記入。弁護士登録日、登録取消日(該当者のみ)は日付まで記入が必須。現在もその職務を行っている場合は「至現在」を記入。 ・賞罰がない場合は、「なし」と明記。罰(刑事処分、公務員や司法修習生における懲戒処分、戒告、注意処分)がある場合は、罰を受けた年月日、内容(罰条又は罪名)、処分(罰金の場合はその額)を記入。確定した有罪判決に限らず、不起訴処分となった事件や、少年法による保護処分についても記入してください。日弁連及び当会宛の上申書を2部提出ください。 	2通 写真 2葉 履歴書に貼付
4	誓約書	<ul style="list-style-type: none"> ・本籍欄は番地等を「ハイフン」等で省略せず、戸籍謄本等の記載通りにご記入をください。2枚目にも捺印ください。 	2通 ※日弁連用・弁護士会控を提出
5	第二東京弁護士会入会審査確認書	<ul style="list-style-type: none"> ・署名・押印をお願いします。 ・心身の故障の有無欄はいずれかに☑してください。 ・登録予定事務所欄は、該当者のみ☑・記入してください。 	1通
6	新規登録弁護士研修履修義務確認書	<ul style="list-style-type: none"> ・弁護士登録後、弁護士活動に必要な各種研修を履修いただく旨の確認書です。 	1通
7	新規登録弁護士雇用届出書 or 新規登録弁護士研修協力確認書	<ul style="list-style-type: none"> ・弁護士登録後、弁護士活動に必要な各種研修に参加いただく旨の雇用先弁護士・企業よりいただく確認書です。任意) ・雇用関係がない等の場合はご提出は不要です。 	1通
8	連絡先回答書	<ul style="list-style-type: none"> ・登録予定日までに連絡可能な場所をご記入ください。 ・登録(入会)希望日を記入してください。 ・「上記以外に確実に連絡が取れる連絡先」には、可能な限り、親族をご記載ください。 	1通

9	戸籍謄本 or 戸籍抄本 or 戸籍記載事項証明書 ＜外国籍の方＞ 国籍記載のある住民票の写し	・ 申請日より3ヶ月以内（マイナンバーの記載なし） のものを ご用意ください。 ・ 婚姻により新戸籍が入手できない場合は婚姻証明書を提出し ていただき、新戸籍謄本等は追完願います。	2通
10	身分証明書	・ 戸籍のある市区町村役所にて申請可能。 ・ 申請日より3ヶ月以内（マイナンバーの記載なし） のものを ご用意ください。（破産宣告を受けていないことの証明）	2通
11	旧々5条3号による入会 申請の方 大学在職証明書 大学科目証明書 シラバス（該当期間5年 分、論文もしくは書著一 冊程度）※	【 附則第3条第1項に該当する場合 】 平成16年3月31日までに5年以上大学教授（助教授）であ ったことを証明願います。（役職、その職の期間、担当科目） 【 附則第3条第1項に該当しない場合（附則第3条第2項もし くは第3項） 】 提出書類についてお問い合わせください。 ※シラバス、業績目録、書籍1冊程度、論文及び5年分の授業 カリキュラム表を適宜ご用意下さい。 いただいたものを拝見した結果、追加で提出を依頼する場合も ございますので、ご容赦ください。	2通 シラバス（論 文、著書等） は1通
12	法5条（現行）による 入会申請の方 5条研修修了認定書 疎明資料 ※疎明資料は1通のみご提出 ください	弁護士法第5条において、法務省令で定める法人が実施する研 修を修了した方は「弁護士となる資格証明」として法務大臣の 認定通知書（コピー2部。原本確認のため原本もご持参願いま す）ご提出下さい。また、認定書その他、弁護士法5条各号に基 づく承認申請をされた時の疎明資料（役職等詳しい職歴表）も必 要です。	2通
13	退官証明若しくは辞令	裁判官・検察官・公証人を退官された方は、それぞれ退官ごと にご提出下さい。	2通
14	日本弁護士連合会 登録料	・ 弁護士名簿登録請求書に添付の収入印紙とは別途で現金をご用意く ださい。郵送で申請される場合は、下記口座に振り込みの上、振り 込み明細のコピー（ネット振込の場合はスクリーンショットのコピ ー）を同送してください。 【口座】三井住友銀行 日比谷支店 普通預金 0922579 名義名：第二東京弁護士会 ※合計金額（6万円）を上記口座にお振込みください。	3万円
15	第二東京弁護士会 入会金		3万円
16	職務上の氏名の届出書・使 用許可申請書 ※ご希望の方のみお渡ししま す	「職務上の氏名」の使用を希望する場合はご提出ください。届 出又は日弁連の許可を得て、「職務上の氏名」を使用するこ とが出来ます。詳細及び届出・許可申請の際に必要な書式と 添付資料については、日弁連のHPをご確認ください。（届 出書・使用許可申請書及び添付資料は、それぞれ2通ずつご 提出ください。）	2枚 ※日弁連用・弁 護士会控を提出
17	外字の取扱いについての 依頼書 ※ご希望の方のみお渡ししま す	・ 氏名に外字（旧字・異字体・俗字・略字等。JIS規格で第1水準、第 2水準以外の漢字）が含まれている場合、常用漢字への置換えにつ きまして、本紙にてご希望をお知らせください。	2通

※16、17についてはご希望の方にお渡しいたします。

※ 書類全般における注意点 ※

印鑑	※ 全ての書類の印鑑（訂正印を含む）は同一である必要があります。 ※ 印鑑は「弁護士」の文字が入ったものは認められません。
氏名	※ 戸籍謄本等どおりに記載願います（特に氏名に異字がある場合にはご留意下さい。）
職務上の 氏名欄	※ 職務上の氏名を新たに届出る方は、2・3・4・9の書類の職務上の氏名は記載しないで ください。1の入会申込書には、戸籍上の氏名と併記してください。
日付	※ 提出日をご記入下さい。
住所等	※ 事務所住所・自宅住所・TEL・FAX番号は全ての書類において同一の記載をくださ い。自宅住所の表記は今後当会や日弁連の証明書等で希望する表記をご記入ください。 （例：1-1-1 又は 1丁目1番1号 等）

<p>入会希望日 について</p>	<p>法5条（現行）による入会申請の場合は、第二東京弁護士会入会手続きと日程をご参照ください。</p> <p>旧々5条第3号附則第3条第1項による入会申請の場合は、日本弁護士連合会（以下日弁連）審査の関係上、第二東京弁護士会入会手続きと日程のスケジュールとは別となります。</p> <p>当会の審査後、当会から日弁連へ書類を提出した日から3か月以内が日弁連審査期間となっているため、ご希望通りの入会希望日に入会できない場合がございます。ご容赦ください。旧々5条第3号附則第3条第2項もしくは第3項による入会申請の場合は、別途お問い合わせください。</p>
-----------------------	---

***お問い合わせ先**

第二東京弁護士会 事務局総務課 Tel : 03-3581-2258 Fax : 03-3581-3337

メールアドレス : soumu@niben.or.jp